

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	国立クムクム保育園
施設所在地	東京都国立市中2丁目18-2
法人名	社会福祉法人聖光会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

ごっこ遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
・4月から他児との関わりが多く見られ、他児とイメージを共有して遊ぶ姿が目立った。また、自分たちが体験したことを遊びに繋げる姿が多く見られたため、その都度子どもたちの興味のある遊びを取り入れていった。

## 2. 活動スケジュール

活動期間 (令和7年5月～令和8年3月)

- ・子どもたちの興味のある遊びに必要な玩具や道具を用意する
- ・子どもたちが体験したことになんだ絵本を用意する
- ・体験したことを製作遊びに繋げ、皆で一つのものを作ったり、様々な技法を使用して取り組んだ
- ・誕生日会で子どもたちの興味のあるお話をペープサートを通して披露する「おおきなかぶ」
- ・散歩先で手作りの玩具を用意し、皆でイメージを共有して表現遊びを楽しむ「おおきなかぶ」
- ・給食でお話に出てくる食材を喜んで食べる
- ・一つの物語を劇ごっこを通して楽しむ

- ・ままごとコーナーにフェルトや手作りの食べ物を用意したり、玩具を置いた。
- ・お店屋さんごっこができるよう机や大型積み木、円卓を用意した。
- ・絵の具、花紙、模造紙を用意し、製作遊びを行った。
- ・保育者が披露したペープサートを保育室に置いた。
- ・「おおきなかぶ」ごっこを楽しめるようカラーポリ袋を使用してかぶを作った。

## 4. 探究活動の実践

### <活動の内容>

他児との関わりを通してイメージを共有しながらごっこ遊びを楽しんだ。その都度子どもたちが体験したこと、興味のあることを遊びの中に取り入れた。夏には花火を見た子が多かったため、様々な道具を使って製作遊びに取り入れたり、花紙を使って花火ごっこを楽しんだ。1年間を通して「おおきなかぶ」の絵本に興味をもち、戸外で友だちと「おおきなかぶごっこ」を楽しむ姿が見られた。

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

○他児との関わりの中で、1つの遊びをイメージを共有しながら楽しむ姿が見られた。特にお店屋さんごっこをする姿が多く見られ、「いらっしゃいませー」と定員になりきながら楽しんでた。お店屋さんの中でも、「ケーキ屋さん」「お菓子屋さん」など日々様々なお店屋さんをする姿が見られたため、その都度必要な玩具や道具を用意して、遊びが展開できるように進めていった。

○夏の休み中の体験を保育者や子どもたちと共有し、その中でもお祭りに行ったり、花火を見たりする子が多かった。花火の絵本を保育室に置くと、より興味をもつ姿が見られた。絵の具遊びが好きなため、絵の具を使用して皆で大きな花火を作ったり、花紙とうちわを使って花火ごっこを楽しんだ。

○1年間を通して「おおきなかぶ」の話に興味をもち、散歩先では他児と雑草を引っ張りながら「うんとこしょ、どっこいしょ」と楽しむ姿が見られた。

○保育者が誕生日会でペープサートを使用して「おおきなかぶ」の話をアレンジして披露した。

ペープサートを保育室に置いておくと、友達同士で言葉のやり取りを楽しみながら表現遊びを楽しんだ。

○保育者が作った手作りのかぶを散歩先で遊びの中に取り入れると、表現遊びに繋がり、「おおきなかぶごっこ」が始まった。絵本の中の役になり、「うんとこしょ、どっこいしょ」と皆で声を掛け合いながら楽しむ姿が見られた。

○12月に年長組が「降誕劇」を行うと、とても興味をもち、年長組の真似をして役になりきり、台詞を覚えて劇ごっこを楽しむ姿が見られた。

○1月の行事で劇ごっこを楽しんだ。「おおきなかぶ」の話をもとに、自分でなりたい役になりきり、保育者や友だち、保護者と一緒楽しみながら行った。





## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

こどもたちにとって経験や体験したことが遊びに繋がることが分かり、様々な経験をする大切さを感じた。また、一つの活動に対して友だち同士での関わり、言葉のやり取り、食育など様々なことに繋がることがわかり、活動の進め方や環境設定、保育者の関わり方の大事さを改めて感じた。